



白羽保育園だより



令和 4年 6月23日
御前崎市立白羽保育園

梅雨に入り、雨が降ったり止んだりの天気続きですが、雨さえ降ってなければ外にとび出して行く子ども達です。雨上がりの園庭の水たまりは絶好の遊び場。また、砂場の水たまりも魅力的なようです。はじめは、ちょこっと足を入れたり、指で触れたりしていたのに、そこから夢中になってしまって、服はすっかり泥水だらけです。

でも、こんなに泥だらけになって遊べるのは、保育園時代くらいではないでしょうか。小学生になってする子はあまりいないように思います。年齢が小さい今だからこそ、汚れも気にせず、思いっきり遊べる。人生のなかでも貴重な時期であると思います。

お家の方には洗濯でとてもお世話をおかけしています。ありがとうございます。

そして、これからも子どもが思う存分に遊び、その楽しさがたっぷり味わえるよう、ご協力よろしくお願いします。

また、6月18日(土)の教育講演会と親子活動にはたくさんの保護者の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。

「今井先生のお話がすごく良くて、土日は家で『たすかったよ』って子どもにたくさん言いました」「腕が筋肉痛で痛くて痛くて。大きくなっただねえ」と、嬉しそうにお話してくれる保護者の方の笑顔がとてもやさしく温かで、持ち帰ってもらえるお土産があってよかったですと思いました。感想もたくさん寄せていただき、ありがとうございました。

＜熱中症予防対策について＞

●熱中症予防を優先します。お子さんのマスクの常時着用は控えてください。

保育所を管轄する厚生労働省は「子ども一人ひとりの発達の状況を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、一律にマスクを着用することは求めていない」としています。

マスクをつけると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまい、熱中症の発生につながります。また、子ども自身が自分でマスクを外す判断が十分にできる年齢、発達にも到達していない状況です。

これらのことから、園においてのお子さんのマスクの着用は、保護者の判断にお任せしている所ですが、熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、これからの季節は熱中症予防への対応を優先していきます。

また、職員はマスクを着用して保育にあたっていますが、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合には、マスクを外したうえでそのほかの感染対策を適切に行うように配慮しますことをご了承ください。

【3・4・5歳児の水筒の中身は、熱中症防止の対策として猛暑時の水分補給に好ましいものにしていただいで結構です】

【猛暑の時の水筒の中身に好ましい物】 ・麦茶（ミネラルが豊富で1番のおすすめ！）

・水 ・スポーツドリンク ・経口補水液（OS-1など）

※スポーツドリンクには糖分、経口補水液には塩分が、多く含まれているため、保護者の判断にお任せます。

※緑茶には体から水分を出す利尿作用があるため、熱中症予防には好ましくないとのことです。

体調を崩す子が増加しています

先週末より、発熱や咳、鼻水等、風邪症状による早退や欠席が増えてきています。小さな子ども達が集団で生活をしています。お子さんのため、また他の園児のためにも、園が安心・安全で楽しく生活できますよう次のことへのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

●お子さんに咳や倦怠感、発熱などの風邪症状がある場合は、登園させないようご協力ください。

過去に発熱が認められた場合にあっては、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは登園を控えていただきます。

24時間以内に38度以上あった場合や24時間以内に解熱剤を使った場合は登園を控えてください。

また、家族に同様の風邪症状がある場合にはお子さんの登園を控え、自宅で様子を見ていただくようご協力ください。

●園児とその家族で、コロナ感染や濃厚接触者の疑いがある場合、またPCR検査を受けた場合は、園に速やかにご連絡ください。聞き取り後、状況に合わせた対応を検討し、感染拡大防止に努めます。

●入園進級説明会で配布した“園生活のしおり”の「登園のめやす」を裏面に印刷しました。

登園前にお子さんの体調を観察し、保育を受けられる状態であるかを確認してください。

園でも同じ目安でお子さんの健康状態を観察させていただいた上で、保育を受けることが可能かを判断します。